

日商簿記1級&全経上級ダウンロード講座

工原No.4【部門別計算1】

収録日：平成25年7月14日

連立方程式法

部門費配賦表

	切削部門	組立部門	動力部門	修繕部門
部門費	14,300	18,900	2,800	4,000
動力部門	1,680	560		560
修繕部門	800	2,400	800	
小計	2,480	2,960	800	560
動力部門	480	160		160
修繕部門	112	336	112	
	592	496	112	160
動力部門	67	22		22
修繕部門	32	96	32	
	100	118	32	22
動力部門	19	6		6
修繕部門	4	13	4	
	24	20	4	6
動力部門	2	1		1
修繕部門	1	4	1	
	3	5	1	1
			X	Y
総合計	17,499	22,499	3,749	4,749

	切削部門	組立部門	動力部門	修繕部門	合計
動力kwh	300	100	—	100	500
	(0.6)	(0.2)		(0.2)	
修繕時間	50	150	50	—	250
	(0.2)	(0.6)	(0.2)		

Xは2,800の部門個別費に、修繕部門から0.2入ってきたものの合計を加算したものと考えられる

Yは4,000の部門個別費に、動力部門から0.2入ってきたものの合計を加算したものと考えられる

$$\therefore X = 2,800 + 0.2Y \quad Y = 4,000 + 0.2X$$

これを解くと

$$X = 3,750$$

$$Y = 4,750$$

$$\text{切削への配賦額} : 3,750 \times 0.6 + 4,750 \times 0.2 = 3,200$$

動力部門は、他に配賦したと思っても、修繕から0.2入ってくる

修繕部門も、他に配賦したと思っても、動力から0.2入ってくる

連立方程式法を理解する為に

下記の部門費配賦表を右の基準で5回相互配賦して下さい(1円未満四捨五入)

過去問: 全経159回・164回・168回

部門費配賦表

	切削部門	組立部門	動力部門	修繕部門
部門費	14,300	18,900	2,800	4,000
動力部門			—	
修繕部門				—
上2行の計				
動力部門			—	
修繕部門				—
上2行の計				
動力部門			—	
修繕部門				—
上2行の計				
動力部門			—	
修繕部門				—
上2行の計				
動力部門			—	
修繕部門				—
上2行の計	3	5	1	1

	切削部門	組立部門	動力部門	修繕部門	合計
動力kwh	300	100	—	100	500
修繕時間	50	150	50	—	250

動力部門と修繕部門の(上2行の)計をさらに下に配賦して行って下さい

最終行はこうなる筈

網掛部分を合計して下さい

総合計				
-----	--	--	--	--

- ①網掛け部分を他の部門に配分しています
- ②という事は補助部門同志のやり取りは、網掛部分の総合計で計算できる
- ③簡単に説こうと思ったら動力と修繕の総合計をX・Yとおけば連立方程式で計算できます。